

《担当者名》片山寛信 katayama@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

対人援助の仕事に携わるとき、対象となるクライアントとその家族の理解は必要不可欠となる。個人や社会の構成単位としての家族を理解するために、家族研究の基礎理論やデータをもとに現代社会の家族について社会学、家族関係学の視点から考える。

【学修目標】

専門職として多様な家族への援助を考えるために、家族内の問題を社会的要因との関連で理解することができる。
多様な家族への支援方法を知る。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 家族とは何か	受講上の諸注意を理解する 日本の家族・世界の家族。「家族」に関する価値観の違いを理解する	片山
2	家族のイメージと実像	家族のイメージ、家族の定義について理解する	片山
3	社会構造と現代の家族	前近代の家族から近代家族の変容について理解する	片山
4	父になること母になること 1	多様な親子関係のあり方について知る	片山
5	父になること母になること 2	多様な親子関係のあり方について検討する	片山
6	妊娠出産と子育て	生殖技術の変化と妊娠について理解する 育児休業について理解する	片山
7	ジェンダーと家族	夫妻関係とジェンダー 結婚という選択とジェンダー 子育てとジェンダー について理解する	片山
8	家族が抱える課題	青年期における家族の課題について理解する 子どもの人権と子ども差別について理解する	片山
9	家族への支援 1	家族を支援する上での方法論について理解する ファミリーグループカンファレンスについて理解する	片山
10	家族への支援 2	事例を基に、家族の状況を把握する能力を身に付け、 アセスメントと家族支援の展開方法について理解する	片山
11	結婚と多様な形の家族	結婚の意味と社会の変化について理解する	片山
12	こども家庭支援の実践（1）	身近な自治体の取り組みを理解する（市区町村子ども 家庭総合支援拠点・子育て世代包括支援センター・要 保護児童対策地域協議会） 身近な自治体の子ども家庭支援について、自治体が表示 資料やデータから考察を行い、担当者へのヒアリング 内容を検討する	片山
13	こども家庭支援の実践（2）	身近な自治体の取り組みを理解する 身近な自治体の子ども家庭支援について、担当者への ヒアリングを行う	片山
14	こども家庭支援の実践（3）	身近な自治体の取り組みを検証する 当別町の子ども家庭支援について、担当者へのヒアリ ング結果をまとめる	片山
15	新たな家族支援を考える まとめ	家族支援に求められる新たなプログラムについて検討 できる 助成金やクラウドファンディングの申請書が作成でき る	片山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】
導入している

【評価方法】
参加態度 30% 課題レポート 40% 最終課題レポート 30%

【教科書】
よくわかる現代家族 第2版 神原文子 杉井潤子 竹田美和編著 ミネルヴァ書房

【参考書】
問いからはじめる家族社会学 岩間暁子 大和礼子 田間泰子 有斐閣ストゥディア
入門家族社会学 永田夏来 松本洋人 編著 新泉社

【備考】
この科目は、教職課程（公民）では、教科に関する科目の「社会学、経済学（国際経済を含む。）」に該当する。

【学修の準備】
【予習】（2時間）
次回の授業範囲を予習し，専門用語の意味等を理解しておくこと．
不明な点について文章化しまとめておく．
【復習】（2時間）
授業内容についてまとめ，考察を行う．
不明点がある場合は，教員に質問するなどの対応を行い，解決しておく．

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】
DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【実務経験】
社会福祉士

【実務経験を活かした教育内容】
児童養護施設，障害者（児）相談支援事業所におけるソーシャルワーク実践の経験を生かした教育を行う

【その他】
この科目は主要授業科目に設定している